

# なかしべつ



実りの秋を期待して行われたじゃがいもオーナー株植え付け作業

なかしべつ6月号

もくじ

CONTENTS

- |                   |   |                      |       |
|-------------------|---|----------------------|-------|
| ●じゃがいも植え体験……………   | 2 | ●普及の窓                |       |
| ●女性部奉仕活動……………     | 3 | 乾乳期の役割……………          | 7     |
| ●熟年会春期旅行……………     | 4 | ●アイドル                |       |
| ●ハイクオリティミルク宣言     |   | 尾崎蒼次郎くん林三郎くん……………    | 8     |
| 中林誠司さん・熊倉誠さん…………… | 5 | ●理事会経過報告、5月組合動静…………… | 9     |
| ●未来を拓く若者          |   | ●掲示板……………            | 10~13 |
| 開陽地区・斉藤希さん……………   | 6 |                      |       |

伯爵まつり  
オーナー株  
植え付け  
作業

# 「すくすく大きくなあれ」 実りの秋に期待を込めて



肌寒い天気が続いた5月でしたが、28日にJA中標津青年部役員らの恒例行事となつている「じゃがいも伯爵まつり&ふれあい広場以下伯爵祭り」イベントにかかる、オーナー株体験者による植え付け作業が行われ、約40組の参加者が125区画の圃場で「実りの秋を期待」

して、思い思いに植え付け作業を行いました。前日27日には



昼過ぎから雨模様となり夜中まで雨が降り続いたことから、オーナー株の植え付け作業が心配されましたが、マリンスファームと田中世一さん、農協職員らのお手伝いにより、午前7時過ぎからまつりイベントも圃場の整地、うね作り、いも撒き、お休みの圃場への緑肥播種などが滞りなく進められ、商工会青年部、農協青年部の集合時間だった11時までには全て作業が終えられて

ありました。

ありがとうございました。

両部の青年部役員らは、オーナー株圃場の区画割りや体験者へ配布する伯爵種いもと肥料の用意などを行いました。午後1時からの受付前に、待ちかねたオーナー株体験者が集合

場所に早くも到着し、予定時間前から作業を開始。今年度のオーナー株は5m、1列の区画に19株の伯爵種いもを25cm間隔で植えることになりました。

毎年、来ていただいている体験者の何人からは「昨年は暑さの影響からか、収量が少なかった」という声もありましたが、豊作、良好な出来秋ばかりが「農業」ではないという自然との係わりを説明し、これらをひつくるめて農業体験なんですとナック

それでも、やはり「豊作」を期待したいもの。順調な成長を期待したいオーナー株、伯爵祭りイベント圃場の植え付け作業でした。協力いただいた皆様には誠にありがとうございました。

## じゃがいも伯爵まつり & ふれあい広場

- とき  
平成17年9月11日(日)開催
  - ところ  
道立ゆめの森公園  
翼とふれあいのゾーン
- 駐車場の開場は午前9時



●女性部奉仕活動

# 女性部の奉仕活動で「開陽台」周辺のゴミが一掃されました



5月17日、女性部奉仕活動として、中標津町の観光名所である『開陽台』の周辺のゴミ拾いを、部員46人の参加協力を得て行いました。



この奉仕活動は、一昨年より行っており、役員会において、今年も継続して行うことを決定したものです。私たちの住む町を私たちの手できれいにしようということによって実施されました。

当日は、曇り空で風の強い天候でしたが、5班に分かれて、燃えるゴミ・燃えないゴミに分別しながら、ゴミ拾いを行いました。1時間程度で各班開陽台駐車場まで戻りましたが、終了後に町のゴミ処理場へついで、ゴミの重さを計量したところ

110kgのゴミの量になりました。昼食後に、中標津町役場生活課の方よりゴミの分け方・出し方および資源ゴミの種類についての説明をしていただきました。昼食に食べたお弁当の容器などをもとに実際に分別を行い、また、日常生活や営業している中で排出される、分別が難しいものについても説明して頂きました。そのまま捨てるとゴミ(廃棄物)となってしまうものが、ひと手間かけることで新たに姿を変えて再利用(リサイクル)され、ゴミ排出量の減少にもつながることが分かった奉仕活動になりました。



## 中標津町のゴミ分別基準

産業廃棄物は町では収集処理できないので、産業廃棄物処理業者に依頼します。バッテリーや廃油、農薬のポリタンクなどの処理困難物は、販売店に問い合わせします。

ペットボトルは中をすすいで資源ごみの日に出します。キャップは、プラスチック製容器包装として分け、資源ごみの袋に入れます。資源ごみになる容器包装は汚れを落とすことがポイント。ご協力をお願いいたします。

## ちよつとの手間でゴミも再利用されます

汚れているとリサイクルできないので、必ず水洗いしたりすすいだりします。たとえば、プラマークのプラスチック製容器包装(写真1)汚れたままでは燃やせないごみとして分けられますが、水洗いすることで、ごみの減量化を推進する資源ごみになります。

※プラと書かれているしようちゅーソースなどの入った小袋は、きれいに洗うのが困難であるため、町では燃えないごみとして収集・処理しています。



このままでは燃やせないごみ



水洗いして、汚れを落とすと資源ゴミ

# 愛地球博(愛知万博)を メインに5日間の旅

熟年会 春期旅行

(4月18日~22日)



例年になく残雪が多く気温の低い日が続く中、J A 中標津熟年会の研修旅行が4月18日から5日間の日程で行われました。

## 1日目

服部副会長を団長に51人が参加し、釧路空港から一路中部国際空港へと向かいました。新しい空港で期待

をして降りましたが、時間がなくて空港内を見ることもできず宿泊先の三谷温泉へと向かうことになり少し残念でした。宿への到着時間が午後7時と遅かったこともあり、夕食後はみな温泉で汗を流して早々に休みました。

## 2日目

愛知万博見学当日、ホテルから予定時間を30分早めて出発しました。到着後、会場駐車場から会場西ゲート入口まで、約1時間は人の列の流れに沿って歩き、会場内に到着した時は、見学者で溢れていました。

熟年会一行は、人混みの少ないアジア・南北アメリカエリア

で自由行動した後は、周辺施設の見学をして終えましたが、時間の制約と会場が



150分の広さである事から、多くのパビリオンを見学する事ができませんでした。それでも、国際万博の雰囲気味わう事はできました。会場を後に宿泊先の琵琶湖の雄琴温泉へ移動。会食の後、京都・茜流むらさき太鼓を堪能しました。

## 3日目

雨が降ったり止んだりの1日となりました。最初に、近江八幡水郷を手こぎ舟にゆられて巡り、風情を感じました。その後は、彦根城・越前岬などを見学して、宿泊先の芦原温泉(田園の真ん中の温泉)へと向いました。

## 4日目

映画のロケーションにも出てくる東尋坊(断崖絶壁)を見学した後は、永平寺・能登金剛・輪島漆器会館を経てホテル到着。バスに乗る時間が長かったのですが、みんな元気な足取りでホテルに入



ごじんじょだいこ

りました。夕食後の、能登の無形文化財である御陣乗太鼓の激しい踊りと、太鼓の響きが強烈にみんなの心に焼き付いた夜でした。

## 5日目

最終日、輪島の朝市を見学後、千枚田を見学し、曾々本海岸を経て、能登空港へ。羽田空港を経由し、釧路空港へ到着。根釧地域は大雪の後ということで、道路周辺には残雪があり少々びっくりにしながら中標津へ。全員元気に帰路に着きました。

体細胞20万個/ml以下  
生菌数0.4万個/ml以下  
脂肪分4.0%以上  
無脂固形分8.8%以上  
乳蛋白3.2%以上



# High Quality MILK宣言

## 全戸達成を目指そう! JA中標津



俵橋支部

なかばやし せいじ  
中林 誠司

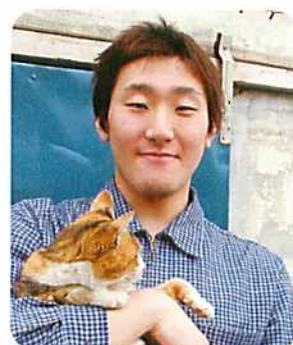
就農してもう7年目、今年から経営者となり責任の大きさを痛感している中林誠司です。我が家では「乳質改善のために」という感覚では特に何もしていません。きっと皆さんが普段に行っていることしかしていないでしょう。乳房炎の早期発見、早期治療を心がけているだけです。検査が終わったからといって、体細胞の高い牛乳を出荷するのではなく、消費者の立場に立って生乳生産に努めることが第一だと思っています。

乳質に大きく影響する良好な粗飼料生産に力を入れ、1年間生菌数と体細胞数のオールクリアを目標にしていきたいと思います。

「土造り、草造り、牛造り」と「生産者でありながら消費者である」の2つを基本にこれからも営農に力を注ぎたいと思います。



父の代、H2年から毎年作付けしているコーン。自給飼料としてコーンサイレージも給与しています。



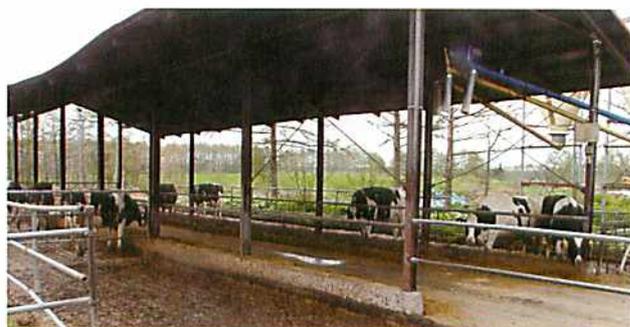
当幌支部

くまくら まこと  
熊倉 誠

当幌支部の熊倉誠です。高校を卒業して、いつかほかの酪農とは違う職業に就いていましたが、家の酪農の仕事を経営することを決心して酪農家として働き始めてから5年目になります。

働き始めの頃はほとんど何も解らない状態で、両親には多くの迷惑を掛けていたんじゃないかと思います。これは自分が学生時代に家の手伝いをほとんどしていなかったため、今では少し後悔・反省をしています。今、我が家で問題になっていることは、搾乳牛と乾乳牛に与えている餌が同じということ。乾乳牛の牛が丸々と太って、産後の起立不能、繁殖障害、脂肪肝などの障害が起きることです。それを少しでも防ぐために、家でやっている事は脂肪肝予防に産前にパンカルを給与。四変予防に産後すぐにカクテルを20リットルほど飲ませるなどの対策をしています。

今後、老朽化が激しい牛舎を建て替え、80頭ほどまで搾乳頭数を増やしていきたいです。でこれからも一生懸命に立派な酪農家を目指して頑張っていきたいです。



給餌場の真中ほどまでが乾乳牛の餌場、それ以外が搾乳牛の餌場になっており、同じ餌を給餌

# ☆ 未来を拓く若者

開陽支部

のぞむ  
齊藤 希さん

## 父のような経営者に！



今回ご紹介するのは、農協青年部開陽支部の齊藤希（のぞむ）さんです。

希さんは、地元の高校を卒業後、親元を離れ人生の厳しさを知るために、修行の旅にでました（修行に至った経緯、また、修行から戻ってきた経緯は本人から詳しくお聞き下さい）。

平成15年の春に帰郷し、開陽地区の青年部と同志会に入りました。また、この年、別海高校の農業専攻科にも入学しました。翌年1月には結婚。同じ年に第一子が誕生（ちなみに5月下

旬には第二子のご誕生になりました）。またこの年、農協青年部の本部に入部。しかし、入部したものの学校生活と青年部活動の両立は難しく、青年部の会合にはなかなか出られなかったようでした。

そして、今年、希さんは農業専攻科も卒業し、本格的に実家の仕事に就き、「スゴク大変」といいながらもしっかりと青年部の集まりには出席してくれる好青年ぶりを見せてくれています。

希さんの趣味は、映画鑑賞とサッカー観戦。映画は洋画が好きで、サッカーはセリエAのACミランファンだそうです。

そんな希さんの将来の夢・目標は？ と聞くと「今、飼っている頭数に比べて、施設の収容面積が狭いので、密飼いの状態になっている。トラブルの原因にもなるから、施設を広くして牛たちによつとりのあるスペースを作つてあげたい」また、「もつと勉強して、父のような

## 中標津町農協屈指の生産乳量

経営者になりたい」と答えられました。

逆境といえる経営から現在では中標津でも屈指の生産乳量を誇る大牧場を築きあげた父・一美さんの影響は大きい。これからも、両親からたくさんのお話を学んで立派な経営者になることを期待しています。

▼取材Ⅱ青年部開陽支部・櫻井寿治



# 普及の窓

## 乾乳期の役割

北根室地区農業改良普及センター

☎72-2164

先月号に引き続き乾乳期における飼養について掲載します

①第一胃の機能の回復(絨毛の退行と再生)②乳腺細胞の再生③胎児の急激な成長に対応した栄養供給④分娩後の泌乳ピークを支える体力の蓄積⑤次の受胎のための卵胞発育の開始⑥初乳生産の準備

このように乾乳期は、「前期の泌乳ストレスの解消」と「次期乳期のための準備期間」という重要な役割があります。

### 1 乾乳牛には何が起きているか

①まず食えなくなる  
胎児は分娩前の60日間でそれまでのほぼ倍の大きさに成長し、大きくなった子宮が胃腸を圧迫し採食量が

おちます。特に分娩直前では、分娩2週前に比べ乾物で1/3程度採食量が減ります。

②一方で栄養要求量はほとんど増える

胎児が大きくなる乾乳後期には栄養要求量が増加します。この時期に極端な栄養不足に陥ったり、やせさせたりすると多くの周産期病につながります(第四胃変位(以下四変)、ケトosis、脂肪肝、繁殖障害等)。

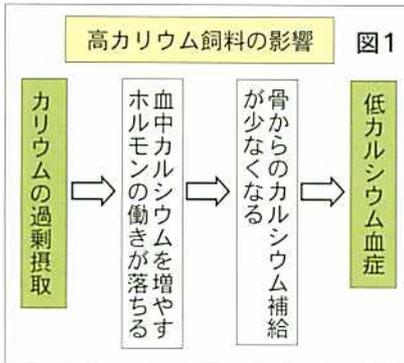
③餌に含まれるミネラルに注意する時期

乾乳後期は分娩後の低カルシウム血症(以下低カル)を避けるために、カルシウム給与量を制限する時期です。

また、カリウムの給与量が多いと体内のカリウムが使われにくくなり間接的に低カルを引き起こします(図1)。低カルは目に見えるものでは起立不能等に現れますが、潜在的には様々な疾病につながります(図2)。

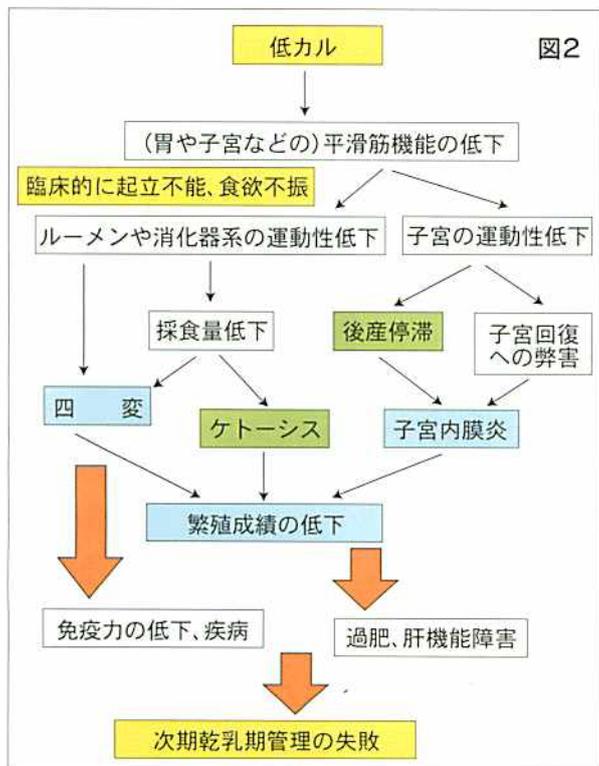
### 2 どうすればよいか

①飼養環境の改善  
まずストレスが少ない環境、必要な餌を給餌できてそれを食い込める環境、衛生的な環境、蹄によい環境等に少しでも近づけます(5月号参照)。



②可能な限り良質粗飼料を給与  
一番のポイントと言っても良い部分です。ただでさえ採食量が落ちる時期なので可能な限り良質な粗飼料を与えます。搾乳牛を優先するあまり、カビや酪酸発酵している粗飼料を与えるのは、肝機能が衰退している乾乳牛に大きな負担をかけることとなります。

③濃厚飼料の給与  
栄養要求量の増加に対応するため、及びルーメン内壁を泌乳期に対応させるために、乾乳後期には濃厚飼料を3〜4kg、前期で2kg程度給与します。また、乾乳期間にポデイコンデーション



を変動させることは肝機能への負担を増加させてしまうので避けます。

④高カルシウム、高カリウムの餌は避ける  
低カルやそれに起因する疾病を防ぐために乾乳後期には高カルシウム飼料(マメ科製品、搾乳牛用配合)、高カリウムの牧草(糞尿を過剰散布した草地)などは給与しないことが基本となります。

施設や労働力の問題により、すべてを改善することができなくても、可能なことから手を付けていくことが改善の第一歩です。

# アイドル IDOL

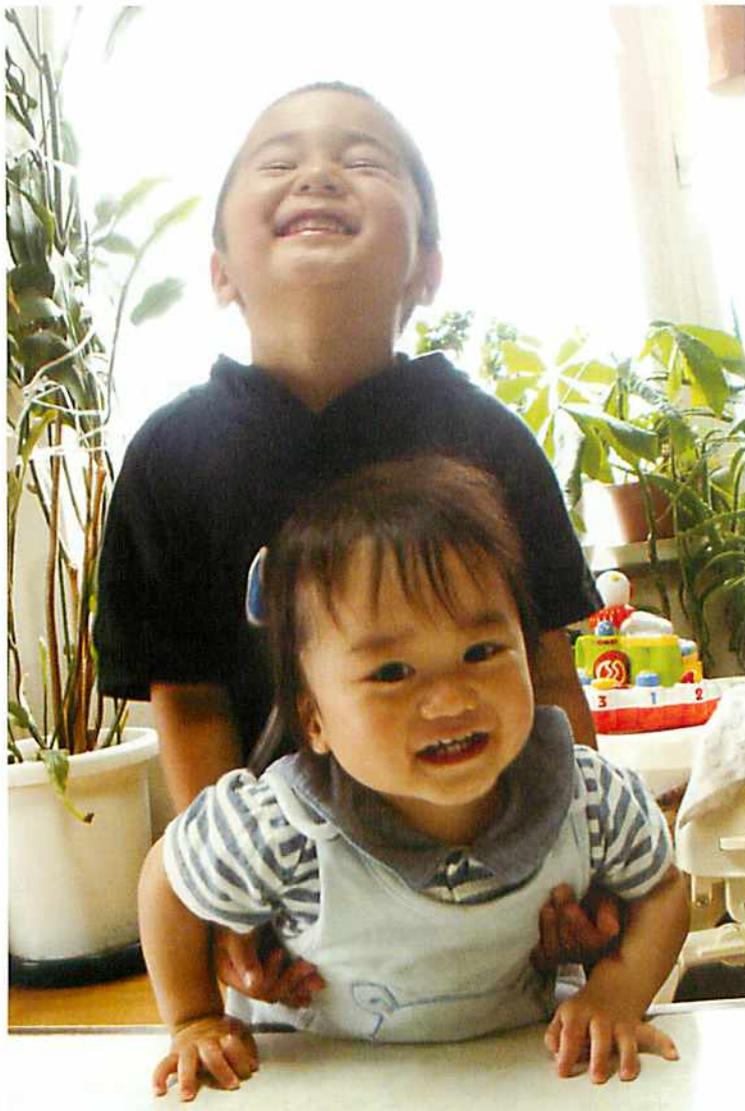


## 姉弟がいるっていいね!

蒼次郎(そうじろう)くん3歳

林三郎(りんざぶろう)くん1歳

※尾崎家は長女、次女、長男、次男、三男という順番で生まれた『きょうだい』で、通常漢字表記では、兄弟・兄妹・姉妹と書きますが、今回はあえて姉弟と表記させていただきます。



やっと初夏らしい気候になり、繁忙期が近づいてそわそわしてきた今月の『わが家の人気者』は、第2俣落地区、尾崎広太郎さん宅の次男・蒼次郎くんと、三男・林三郎くんです。

ちよつと甘えん坊で泣き虫の蒼次郎くんは、5月に満3歳の誕生日を迎え、6月より保育所へ通い始めました。長男の雪太郎(ゆきたろう)お兄ちゃんも、蒼次郎くんと一緒に保育園へ行くことが嬉しくて、蒼次郎くんのカバンなどを用意してお兄さんらしいところを見せているそうです。お父さん、お母さんが搾乳している間は、雪

太郎お兄ちゃんと外で元気に遊んでいます。好奇心旺盛な蒼次郎くんは、ときどき、車のバッテリーをあげてしまうこともあったりとお母さんをビックリさせたり、困らせたりもするけど、弟の林三郎くんを可愛がるうとする優しいお兄ちゃんです。



5人兄妹の末っ子になる林三郎くんは、尾崎家のみんなから可愛がられているアイドルです。お姉ちゃんが2人いるので、世話をしてくれてお母さんが3人いるみたい。

でも林三郎くんは、一つ歳上の蒼次郎お兄ちゃんがライバルらしく、「お姉ちゃんお兄ちゃんが同じ事をして笑わせようとしても蒼次郎お兄ちゃんの時は笑わなかったり、蒼次郎お兄ちゃんに対しては、「冷たい」と孝子お母さんは分析しています。

まだ話すことができない林三郎くんですが、姉弟でかくれんぼをして遊ぶ時は、姉弟の真似をして、何となく「まあただだよ!」、「もういいよ!」と一緒に声を出しているんです。

孝子お母さんへ、これからの2人に対する思いを訪ねたところ、「とにかく健康で姉弟仲良く育ってくれればいい」と兄妹5人の成長を楽しみにしています。

# 5月の組合動静

- 2 (月) … 営農協議
- 9 (月) … ブロッコリー部会打合せ
- 10 (火) … 熟年会全体会議  
アドバンス21総会
- 11 (水) … 第2回理事会  
加工部会役員会
- 12 (木) … クローバークラブ総会
- 14 (土) … 農協酪対総会  
乳検組合総会  
中山間総会
- 16 (月) … 馬事振興同志会役員会  
CDP研究会会議
- 17 (火) … 共済出陣式  
農機具会議  
青年部班会議  
同志会役員会
- 18 (水) … 伯爵まつり実行委員会
- 19 (木) … 青年部役員会  
全道BW出品者会議
- 20 (金) … ホクレン乳質改善協議会  
肥料推進打合せ
- 23 (月) … 担い手創出協議会総会  
ジュニア運営委員会
- 25 (水) … 融資協議  
青年部勉強会
- 26 (木) … 女性部おし花教室
- 27 (金) … 基金協会実地調査  
中山間委員会
- 30 (月) … 地区別懇談会～(第二俣落・西竹)  
青年部班会議
- 31 (火) … 地区別懇談会～(開陽・武佐)  
伯爵まつり代表者会議

## 第2回

# 理事会の経過報告

開催月日 平成17年5月11日  
開催場所 農協中会議室

### 決議事項

- 1・監事からの監査報告書の提出について
- 2・平成16年度決算監査の回答について
- 3・情報セキュリティ基本方針等の公表等の取扱いについて
- 4・定款の一部改正について
- 5・規約の一部改正について
- 6・総会提出議案の一部修正について
- 7・各資金の借入について

### 報告事項

- 1・総会議案説明地区別懇談会の日程について
- 2・内部審査の実施報告について

## 地区別懇談会参加の御礼



当幌地区での模様

5月の30日、第2俣落・西竹、31日、武佐・開陽、6月1日、当幌・中標津、2日、俣落・依橋と5月末、6月初旬の多忙な時期に4日間にあたり行われた地区別懇談会に、たいへん大勢の組合員さんの参加をいただき、誠にありがとうございました。

## 報徳の教え

協力 勸北海道報徳社

3

前回の「報徳の教え」では貧しかった時代にその貧しさから抜け出すために協同が必要だったということを伝えました。

では、豊かな時代に、なぜ農協を利用しなければならぬのか、どうして協同する必要があらぬのだ？ ということになりませんが、表面的な豊かさとは、別のところに未解決の問題や新たに発生する諸問題がたくさんあるためです。

諸外国、またアジア圏との農業交渉。BSE問題など。安全・安心を前面に押し出す国内産農畜産物が自由・市場経済の競争では、生産条件の異なる国々に

脅かされます。ほかにも、異常気象による冷害、災害などにより経営が圧迫されることも考えられます。

農業経営を安定的に続けるためには、共済制度や価格安定対策などの安全網を拡充していく必要があります。

弱い1人1人の力を大きなものにするには協同の力があつてこそです。協同して経済や健康、老後のこと、心のことなど、さまざまな広範囲に広がる問題を解決していくことが必要になります。協同を嫌った人も協同の力で解決した実績の上で生活していつているのです。全員が協同をやめてしまったときには山積する諸問題の中に埋もれてしまうこととなります。

JAの家庭雑誌

# 家の光

人と地域のいきいき  
づくりを応援します

毎月、暮らしに役だつ  
確かな知恵をお届けします

普通月号……………600円  
付録月号(1・4・5・7・9月号)……………880円  
家計簿付き12月号……………980円

お申し込みはJAへ

# 掲示板

イベント情報・公募・売り買いなど、組合員の便利な掲示板として皆様からの情報をお待ちしております。 ☎72-3721

**J A中標津出品牛3頭  
がチャンピオンに輝く**  
根室管内B&Wシヨウ



入賞牛と出品者たち (写真提供・日本農業新聞)

根室ホルスタイン改良協議会が、5月22日に開いた2005年ブラック&ホワイトシヨウで、J A中標津の組合員出品牛が3頭チャンピオンに輝きました。

ジュニアチャンピオンに輝いたのは、第6部(未經産シニア)1位のアースリースト テンプレスト テラソン ライン フタゴ(佐々木宏之氏)、インターミディエイトチャンピオンには、第9部(3歳ジュニア)1位に輝いたサイドバレー レセレナード(横田千秋氏)、リザーブインターミディエイトチャンピオンには、第9部2位のハッピーランド ダーハム ポリリン(福島信博氏)が選ばれました。

開催場所はホクレン根室地区家畜市場。管内各地から乳牛100頭が出陳されて、12の部門に分かれて審査されました。審査にあたったのは、道ホルスタイン農協認定審査員の高橋忠司指導部長(オールジャパン・ブリーダーズ・サービス)。

グラントチャンピオンに輝いたのは、J A中春別の妻沼和紘氏出品のブルーミ

ング ジャーランチェ ロイヤル オリーブ。同牛は第11部(4歳)で1位、シニアチャンピオンにも選ばれました。

チャンピオン以外の各クラス1位の入賞牛出品者で、当農協関連は以下の通りです。

第2部(育成ミドル)佐々木昭雄氏、第3部(育成シニア)福島信博氏、第4部(未經産ジュニア)中川将氏、第10部(3歳シニア)竹村聡氏。

根室管内B Wシヨウで好成績を残したJ A中標津管内からの出陳牛たちでしたが、5月28日、29日に開かれた全道共進会では、最高で一等四席という結果で春の全道共進会が終了しました。

## 手際良く積み作業終了 管内共進会の堆肥掃除

5月22日(日)青年部当幌支部は、管内B Wシヨウの堆肥出しを行いました。当日2時に市場に集合、天候が良く、進行もスムーズに進んだようで、出陳者の方の引き上げも早く(1頭だけ掃除終了間際までJ A中

標津管外の出品牛がいました(3)が、3時前には作業を開始しました。

西垣努さん、安田牧場のダンブの他に吉田正行さん、飯島浩さんにダンブの協力



をしていただきました。作業の流れとしては、西垣さんがワラを市場内から押し出し、今井敏洋君、下山健一君がタイヤシャベルで積み込みました。他の協力者は、フォーク、ほうき、スコップで細かいところをきれいにし、スムーズに作業が進み、ダンブ5台に積み込み午後4時過ぎには無事に終了しました。

今回は、共進会前の事前会議にてゴミの問題を挙げていただいたおかげか、大きなゴミはなかったように思います(細かいゴミはたくさんありましたが)、関係各位に置かれましてはゴミの処置を今後もよろしくお願いいたします。水もゴロンと出てきたのは驚きでした。作業に参加、協力された皆さんご苦労様でした。

●寄稿 青年部当幌支部

## 多彩な催しで盛り上がる 俣落地区牛祭り

5月28日、酷対俣落支部主催の俣落地区牛祭りが牛馬観世音菩薩のある河川敷で開かれ、地区の子供から大人まで大勢の人が集まってジャッジングコンテストやサイレージコンテストの催し、オークションなどに興じて、繁忙期前の英気を養いました。

(社)ジェネテイクス北海道道東事業所の渡部信義所長が子供たちへ牛の見方を説明した後、牛の写真によるジャッジングコンテストが

中津津脳神経外科  
第4回 いきいき  
**元気まつり**

とき  
**6/25土**  
AM10:00~PM2:00

ところ  
中津津経済センター  
(なかまっ広)  
中津津中津津町東2丁目2丁目  
TEL(0153)72-6800

医療講演を  
開催します。

11 AM11:00より開催  
テーマ  
『脳卒中は予防できるの?』  
中津津脳神経外科 院長 高山 宏 先生

2 PM1:00より開催  
テーマ  
『睡眠時無呼吸症候群』  
里が浦南病院心臓血管外科 医師 馬場 俊雄 先生

救急講習  
午前12時より  
いばという時に役立つ  
救命処置  
身につけませんか?

ものむずれエック  
誰でもできる  
紙に貼るだけ  
是非見て下さい。

介護用品展示  
高齢者福祉施設  
無料相談コーナー  
協力 ASクラザ

主催：中津津経済センター  
協賛：中津津脳神経外科  
TEL(0153)73-1500

行われ、秋山久雄氏、遠藤昭男氏が審査員となり、投票の後に講評と牛の見方を伝えました。参加者が持ち寄って行うサイレージコンテストでは、色味、臭い、水分などによって人気投票を行い順位が決められ、ロールの部門では新井範美さん、キサミの部門では太田直行さんが1位に輝きました。

● 投稿 || 青年部俣落支部  
した。



素敵にできあがりしました  
女性部「押し花教室」

**N TOURお奨めの旅**

十勝の広尾港発着「飛鳥クルーズ」で行く船旅。愛知万博4日間。出発日：平成17年9月11日(日) 予定旅行代金1198,000円(大人お1人様) お問い合わせ先(株)農協観光・釧路支店0154-24-117

5月26日、農協中会議室において、女性部の「押し花教室」が開催され、11人が参加しました。

講師は、中春別美原地区より阿部郁子さんをお招きし行いました。

今回は、すでに押し花になつている数種類の花を用意していただき、部員それぞれが思いつくまま、自由に台紙に貼り付けていきました。

細かい作業もあり、苦戦する場面もありましたが、部員それぞれの個性溢れるステキな作品ができあがりました。

**パークゴルフで親睦  
JA根室地区女性協  
フレッシュミニ交流会**

5月30日、ゆめの森公園パークゴルフ場において、JA根室地区女性協・フレッシュミニ交流会が行われ、当女性部からは筒井文代さんと飯島洋子さんが参加。管内全部で約30人のフレッシュミニ部員が集まりました。

当日、少し肌寒い天候の中で、女性協事務局が編成してくれた混合チームごと



に2コースを廻り、チームの平均スコアを競い合いました。筒井さん所属のチームが2位に入賞しました。パークゴルフを通して、普段交流を持つ機会がなかなか持てない、他地域の部員との交流ができる良い交流会であったのではないのでしょうか。

これからもたくさんの方々が交流できる機会が開かれるといいですね。

# Congratulations!

ご結婚おめでとうございます。



2005年5月21日に挙式・披露宴を行った光地区峰松秀樹さん・道子さんの長男峰松宏樹さん・恭子さんです。

宏樹さんより「恭子は兵庫県出身なので、中標津町農協管内の女性の方々、今後ともよろしく願いたします」とのこと。

峰松宏樹さんも小沼孝さんも、町外出身の奥さんが中標津町に溶け込めるよう広報誌向けに優しさあふれるコメントを寄せてくれた好青年です。末永くお幸せに！



2005年5月29日に挙式・披露宴を行った南武佐地区の小沼悟さん・美恵子さんの次男。小沼孝さん・睦子さんです。

孝さんより「むつこは、川湯出身なので、皆様よろしく願いたします」とのこと。

## 会議・問題解決の手法を学ぶ

●青年部勉強会

青年部の勉強会が25日に組織強化委員会の企画によって開かれ、40人の部員が集まり、考え方などの手法を学びました。

今回は、北根室地区農業改良普及センターの藤田善紀氏を講師に迎えて行ったもので、テーマを「農業経営におけるさまざまな疑問や不安を解消するための方法」についてという表向きテーマのほかに、「書くこと、話



を小分類、中分類、大分類していつて、問題となっている部分を発見・整理し、最後に各グループの代表者が発表するという方法を紹介しました。

会議の方法でKJ法とブレインストーミング(発言の量を重視して、意見に対する批判は行わないというルール)という手法を合わせて行ったもの。

自分の家で問題になっていることが、なかなか客観的に見つめることができないでいることを仲間と話しながから見つめ直す、貴重な体験になりました。

時間的な制約が無ければ、解決策までを討議していくことへ発展させていくのですが、今回は方法を伝えること、自ら考えることを主な目的として、盛会のうちに勉強会を終えました。

多くの部員が抱える問題を解決する勉強会を開くための素材として勉強会班が活用していきます。

すこと、考えること、発表すること、仲間と笑い・話すこと、漢字を思い出すこと」を目的にしました。

今回は、少人数のグループに別れて座り、与えられたテーマについて、1人ずつ自分の思いや考えを付箋(ふせん)紙に書きます。これを何度か繰り返し、その内容

(平成17年6月より)

# 農業農村交流施設のご利用について



今回は、農業農村交流施設管理規程より抜粋して掲載いたします。全文についてはファクス情報箱9600にて取り出し可能です。

本格稼働3年目となり、施設の利用頻度がたいへん多くなって参りました。計画どおりの推移といえますが、今後とも施設の稼働調整などを行う上で、農業農村交流施設管理規程（農協の規程・以下管理規程）に則り、行っていくことといたしますので、再確認の程よろしくお願い申し上げます。事業目的に沿った円滑なご活用をお願い申し上げます。

## ●目的 ●第1条

地域で生産された農畜産物の加工、研修体験並びに製造品の販売、地域特産品の展示や地域の総合的な案内板の設置等を通じて農業者自らが学習し、習得した技術により農業、農村の持つ多様な魅力を地域住民、都市住民に伝え、都市住民等との交流を進め、農業及び農村生活の持つ多様な魅力を地域住民と一体的に認識しあえる実践の場として農業農村交流施設を設置する。

## ●使用の許可 ●(第3条)

農業農村交流施設を使用する者は、あらかじめ中標津町農業協同組合に施設利用申込書を提出し、組合長の許可を受けなければならない。  
②組合長は、農業農村交流施設の管理運営上、必要であると認めるときは、その使用について条件をつけることができる。

## ●使用の制限 ●(第5条)

次の各号に該当する者は、農業農村交流施設の使用を許可しない。

## ●遵守事項 ●(第9条)

使用者は、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。  
1、所定の場所以外において、飲食もしくは喫煙並びに、火気を使用しないこと。  
2、使用後は、使用者が責任を持って整理・清掃し、ゴミはすべて各自持ち帰ること。  
3、他人の迷惑となるような行為をしないこと。  
4、その他職員の見しに従うこと。

※以上抜粋。

(この規程は、平成14年5月31日施行)

## 【使用条件】

上記規程に則り、下記の使用条件（随時農協だよりに掲載）が決定しておりますが、今回、新規条件が付されますので合わせてご確認下さい。

## ●利用申込 ●

その月を含め3か月以内のもの。

## 【新規】

1度の申し込みで数か所申し込まれる場合は、仮受付とさせていただきます。その日を含めて3日以内に再度連絡が無いとき、仮受付を解消致します。※施設の利用頻度が高まっている中で、なるべく多くの方々に使っていただける機会を作るためです。

## ●利用制限 ●

当農協組合員（家族含む）を必ず含む。

※施設内・機械などの使用方法が解からない場合はご相談下さい。

このほか管理規程を遵守のこと

## ●申込窓口 ●

農協経営企画課・☎72-3721

(担当Ⅱ真野・橋詰)

## ◆2005年6月行事予定

- 1 (水) … 地区別懇談会(当幌、中標津)
- 2 (木) … 地区別懇談会(俣落、俵橋)
- 3 (金) … 女性部(青葉会)宿泊研修～4日
- 4 (土) …
- 5 (日) …
- 6 (月) … 第1回企画会議
- 7 (火) … 中標津地区集落推進委員会
- 8 (水) … 第3回理事会
- 9 (木) … 女性部日帰り研修、青年部委員会
- 10 (金) … 第58回通常総会
- 11 (土) … 第4回理事会
- 12 (日) …
- 13 (月) …
- 14 (火) … 農協総合共進会
- 15 (水) …
- 16 (木) … 固定資産監査
- 17 (金) …
- 18 (土) … 後継者対策協議会役員会・総会  
和牛生産振興会研修会  
酪農ヘルパー役員会
- 19 (日) …
- 20 (月) …
- 21 (火) … 内部審査～23日
- 22 (水) …
- 23 (木) …
- 24 (金) …
- 25 (土) … 第33回根室種馬共進会
- 26 (日) …
- 27 (月) …
- 28 (火) … 氷上高校農業体験受入～7/7
- 29 (水) …
- 30 (木) …

## 5月号の こたえ

5月号の問題は青年部主催酪農セミナーの中で、話題提供された「フラッシュ」という糞尿処理の方法について、どのような手法のものかをお答えくださいというものでした。

正解は②番のコンクリート盤面の上に溜まった糞尿を水の勢いにより流し出す糞尿処理手法です。

応募・正解者は協和地区の小林佐枝子さん1人でした。事務所にお越しの際は経営企画課・組織広報係までお立ち寄り下さい。



## 6月号



今月号のIDOL(アイドル)で紹介いたしました尾崎広太郎・孝子夫妻の子供たちについて。下記お名前とお顔を結び付けてください。



次男・蒼次郎  
(そうじろう)くん



長女・葉菜子  
(はなこ)ちゃん



長男・雪太郎  
(ゆきたろう)くん



次女・空子  
(そらこ)ちゃん



三男・林三郎  
(りんごぶろう)くん